

令和9年度(令和9年4月入学)

兵庫県立大学大学院
理学研究科(物質科学専攻)
(博士前期課程推薦入学試験)

一般学生募集要項

【連絡先】

〒 678-1297

赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号

兵庫県立大学播磨理学キャンパス

経営部学務課

電話(0791)58-0102(直通)

令和 9 年度
兵庫県立大学大学院理学研究科(物質科学専攻)
(博士前期課程 推薦入学試験)

一般学生募集要項

本大学院理学研究科においては、下記により令和 9 年度の入学者を募集します。

1 募集人員

物質科学専攻 32 名 (一般選抜を含む)

2 出願資格及び推薦条件

学業及び人物ともに優れ、在籍している大学の学長もしくは学部長又は高等専門学校専攻科長又はそれに準ずる者が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 令和 9 年 3 月末までに、大学を卒業見込みの者及び大学を卒業した者

(2) 令和 9 年 3 月末までに、高等専門学校専攻科を修了見込みの者で、かつ、学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者及び高等専門学校専攻科を修了した者で、かつ、学位授与機構から学士の学位を授与された者

3 出願条件

出願者は、希望する研究指導教授とあらかじめ協議のうえ出願すること。

4 出願書類

出 願 書 類 等	備 考
①入学願書 (写真票、受験票を含む。)	本学所定の用紙を使用し、写真票及び受験票に写真を貼付のこと。
※②卒業見込証明書	様式は任意
※③成績証明書	様式は任意
④志望理由書	本学所定の用紙
⑤推薦書	本学所定の用紙
⑥入学意思確認書	本学所定の用紙
⑦入学考査料	30,000円をお振込みください。 (5 入学考査料について を要参照) 以下の要領で振込した証明を提出すること。 ・「振込金受領書」「ATM利用明細」等の写しを提出のこと。 原本は必ず出願者が保管してください。 ・ <u>ネットバンク等で上記の原本が存在しない場合は、振込したことが分かる画面を保存し、紙で印刷したうえで提出するようにしてください。</u>
※⑧受験票等返送用封筒	定型封筒に郵便番号、住所及び氏名を記入し、410円分の切手を貼付すること。
⑨入学手続関係書類送付用封筒(角2号)	封筒に、送付を希望する住所、氏名(本学学生については学籍番号及び講座名も)を記入する。切手は貼付不要。

(注) 本学理学部からの志願者は、※印のものは提出しなくてよい。

なお、本学理学部からの志願者には、播磨理学キャンパス経営部学務課において受験票を渡す。

5 入学考査料について

入学考査料 30,000 円を以下の振込口座にお振込みください。

銀行・支店名	三井住友銀行 ・ 龍野支店
種別・口座番号	普通 ・ 5368445
口座名義	兵庫県公立大学法人兵庫県立大学播磨理学キャンパス
振込金額	30,000 円
振込依頼人名	出願者本人の氏名であることを確認の上お振込みください。

※振込手数料は、出願者負担となります。
※納付された入学考査料は原則返還しません。

6 選抜方法、期日及び試験場

入学者の選抜は、小論文試験、面接試験及び書類審査の結果を総合して判断する。
(本学理学部からの推薦を受けた者は、小論文を免除する。)

(1) 実施年月日

令和 8 年 7 月 4 日(土)

(注) 台風等の悪天候により、令和 8 年 7 月 4 日(土) 午前 9 時の時点で兵庫県赤穂郡上郡町に「暴風警報」又は「特別警報」発令の場合は、令和 8 年 7 月 11 日(土)に順延する。

(2) 小論文試験

月 日	時 間 帯	場 所 (試験会場)
7 月 4 日(土)	10 時～11 時	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

(3) 面接試験

月 日	時 間 帯	場 所 (試験会場)
7 月 4 日(土)	13 時～	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

7 合格発表

令和 8 年 7 月 15 日(水) 午後 4 時

※ 合格者には郵便により通知する。
また、参考情報として同時刻頃より本理学部・大学院ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

その他注意事項

1 出願方法

出願者は、必要書類等を一括して下記の書類等提出先へ持参又は郵送すること。

書類等提出先
〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号 兵庫県立大学播磨理学キャンパス 経営部学務課
TEL(0791)58-0102 FAX(0791)58-0131

郵送出願の場合は、封筒に必ず「理学研究科（物質科学専攻）博士前期課程推薦入学試験一般学生（令和9年4月入学）出願書類在中」と明記し、書留速達で送付すること。

2 出願期日

令和8年6月1日(月)～6月15日(月)16時必着

各日とも受付時間帯は、平日の午前9時～12時、13時～16時とする。

3 入学料及び授業料

(令和9年度入学者徴収予定額)

区 分		入学期	10月	計
入 学 料		282,000円	—	282,000円
授 業 料	博士前期課程	267,900円	267,900円	535,800円

(注)

(1) 入学料、授業料の金額が改正された場合は、改正後の金額による。

4 入学手続期間

入学料の納付及び入学関係手続書類の提出は、来年3月初旬（授業料の納付は7月末）の予定であり、合格者に来年2月下旬に手続書類を送付する。

なお、納付した入学料は、理由の如何にかかわらず返還しない。

長期履修制度の導入について

1. 趣旨

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象としています。事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。

2. 出願資格

長期履修学生として出願することができる者は、入学資格を有する者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 職業を有する者(正規職員以外も含み、主としてその収入で生活を立てている者)
- (2) 育児、長期介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- (3) 病気等その他やむをえない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難であると研究科が認めた者

3. 履修期間

長期履修学生の履修期間は、博士前期課程(修士課程)にあつては3年以上4年まで、博士後期課程にあつては、4年以上6年までとなります。なお、長期履修を認める期間は1年単位です。

4. 長期履修制度に係る授業料

兵庫県立学校授業料等徴収条例で定められた大学の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修学生として認められた履修期間(以下、「長期履修期間」という)の年数で除した額とします。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、再計算されます。

$$\text{長期履修学生の年間の授業料} = \frac{\text{通常の授業料} \times \text{標準修業年限}}{\text{長期履修期間の年数}}$$

5. 長期履修期間の変更

長期履修期間の変更は、当該課程において1回限りです。

※ 長期履修を希望する者は、事前に志望分野の教授の説明を受けること。

物質科学専攻分野研究一覧

令和8年4月現在

専攻	部門	分野	研究内容
物質科学専攻	物質基礎解析学	応用数学 教授 草部 浩一	<ul style="list-style-type: none"> 量子シミュレーションによるマテリアルズインフォマティクス 強相関電子系における超伝導と磁性の理論 原子層物質によるスピントロニクス素子と量子計算素子の設計 原子層物質による化学反応触媒の設計と応用
		数理解析学 教授 坂井 徹 准教授 中野 博生	<ul style="list-style-type: none"> 強相関電子系・量子スピン系の磁性 強相関電子系の金属絶縁体転移 スーパーコンピュータを用いた大規模並列シミュレーション
		数理科学 I 教授 加藤 正和 教授 永安 聖 准教授 平野 克博 准教授 光明 新	<ul style="list-style-type: none"> 非線形偏微分方程式の解の大域挙動と爆発現象の解析 偏微分方程式の逆問題 確率解析とその応用 接続のモジュライ空間を用いたモノドロミー保存変形の研究
		数理科学 II 教授 守屋 克洋 教授 川久保 哲 准教授 山内 淳生 准教授 只野 之英	<ul style="list-style-type: none"> 曲面のはめ込みの微分幾何学 曲線の微分幾何・変分問題の研究 保型形式の算術性 量子力学のスペクトル・散乱理論
		情報理学研究室 准教授 尾嶋 拓	<ul style="list-style-type: none"> 分子動力学シミュレーションを用いた生体分子メカニズムの解明 スーパーコンピュータを用いた創薬応用計算および材料科学計算 拡張アンサンブル法や機械学習に基づいた計算アルゴリズムの開発 大規模並列計算用シミュレーションソフトの開発
	物質機能解析学	電子物性学 教授 宮坂 茂樹 准教授 山口 明	<ul style="list-style-type: none"> 強相関電子系の物質合成による新たな超伝導や磁性現象等の探索 超低温下での超伝導体、磁性体の輸送現象と磁性に関する研究 分光測定を用いた強相関電子系の電子物性の研究 放射光を用いた極低温ヘリウム凝縮系の研究
		電磁物性学 教授 水戸 毅 准教授 中井 祐介	<ul style="list-style-type: none"> 核磁気共鳴による強相関電子系の磁性や超伝導研究 ランタノイド、アクチノイド化合物の特異な物性研究 ナノ粒子、ナノ薄膜の核磁気共鳴による研究 ディラック/ワイル電子系物質、トポロジカル絶縁体の物性研究
		量子物性学 教授 小林 寿夫 (令和9年3月退職予定) 准教授 小泉 昭久	<ul style="list-style-type: none"> 放射光の散乱、吸収実験による磁性体、超伝導体の電子状態研究 放射光を用いた実験手法による多重極限(低温・高圧力・強磁場)環境下における金属間化合物の新規相転移の研究 高圧力下メスバウアー分光法による磁性体、超伝導体の研究
		光物性学 教授 田中 義人 准教授 石川 潔	<ul style="list-style-type: none"> X線からテラヘルツ光におよぶ広帯域光物性計測技術の開発研究 パルスレーザーおよび放射光利用による物質の超高速光応答の研究 レーザーと放射光の融合による新しいコヒーレント光源開発研究 レーザー核スピン偏極とそれを用いた精密NMR計測

物質 質 科 学 専 攻	物質機能解析学	エックス線光学 教授 籠島 靖 准教授 津坂 佳幸	<ul style="list-style-type: none"> ・ X線光学の基礎研究 ・ 高性能X線顕微鏡の開発とその物質及び生命科学への応用研究 ・ シンクロトロン放射光利用による材料評価及びイメージ技術の開発研究
		(協力分野) 光学赤外線天文学 教授 伊藤 洋一 准教授 本田 敏志	<ul style="list-style-type: none"> ・ 星惑星形成領域の観測的研究 ・ 太陽系外惑星の観測的研究 ・ 太陽系内天体の観測的研究 ・ 恒星の観測的研究 ・ 天体観測装置の開発
	物質構造制御学	機能性物質学 I 教授 江口 律子 准教授 小簀 剛	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有機・無機二次元層状物質の物性制御に関する研究 ・ 有機電界効果トランジスタを利用したセンサーデバイスに関する研究 ・ 有機プラズモニクスの創成を目指した研究
		機能性物質学 II 教授 吾郷 友宏 准教授 久保 和也	<ul style="list-style-type: none"> ・ 典型元素の特徴を活かした発光性有機化合物の開発と応用 ・ 光電子機能を持つ開殻性有機分子の開発研究 ・ 耐熱性、超撥水撥油性、低誘電性、高透明性を併せ持つ機能性高分子の開発 ・ 分子性導体の新規構成分子開発 ・ 液晶性エレクトロクロミック金属錯体の開発 ・ 柔粘性結晶を用いた分子性マルチフェロイクス材料の開発 ・ 三次元ヘテロπ電子系化合物の合成法開拓と機能化 ・ 光学活性な金属錯体を用いた円偏光リン光材料開発と学理構築
		極限状態物性学 教授 和達 大樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ レーザーとX線による強相関電子系・磁性体の電子状態研究 ・ レーザーとX線による時間・空間分解測定の研究 ・ 生体関連物質などの新規磁性体の研究
		構造物性学 教授 阿部 正明 准教授 中林 耕二	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遷移金属・希土類元素を用いた電子・磁気・発光材料の創製 ・ 弱い相互作用に基づくネットワーク結晶の開発と機能開拓 ・ 高圧環境下のクラスター・集積型金属錯体の構造と発光性 ・ 基板表面・界面への分子集積化によるデバイス・メモリ開発 ・ 外部刺激応答性相転移材料および磁性スピン材料の開発 ・ バイオマス原料を用いた機能性固体材料の開発
	物質反応解析学	物質反応論 I 教授 竹内 佐年 准教授 下條 竜夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 極短パルス光の発生・評価と超高速分子過程の研究 ・ 走査トンネル顕微鏡を用いた単分子ダイナミクス観測方法論の研究 ・ 光イオン化解離ダイナミクスの研究 ・ 気相化学反応ダイナミクスの研究
		物質反応論 II 教授 三宅 由寛 准教授 藤田 守文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新奇π共役有機分子の創成と機能の探求 ・ 電子材料や生体材料への応用を目指したπ共役分子の機能開拓 ・ π共役分子の性質を生かした触媒機能の創出 ・ 超原子価ヨウ素を用いた有機合成反応の開発 ・ キラル有機分子触媒の開発

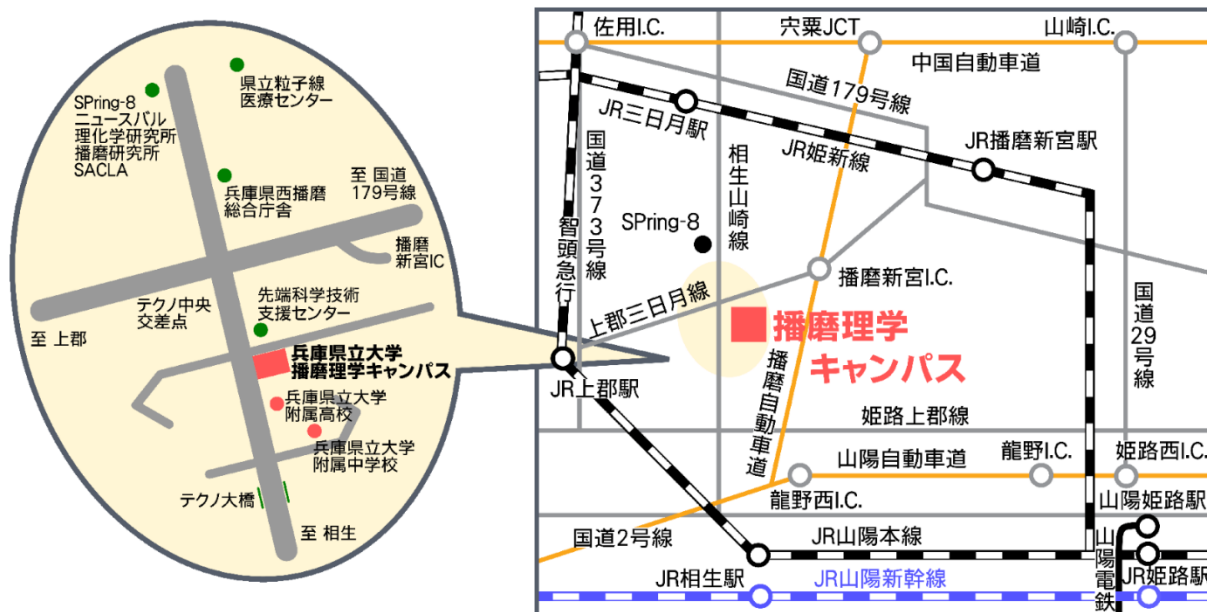
物質科学専攻	物質反応解析学	化学分析学 教授 安川 智之 准教授 鈴木 雅登	<ul style="list-style-type: none"> 電気化学および関連技術による高感度バイオセンサの開発 極微小電極アレイを用いた局所化学分析 誘電泳動や電気回転による細胞操作を利用したバイオセンシング法の開発 細胞や生体のシグナル変換の仕組みを利用した新規分析法の研究 	
	物質基礎解析学	量子シミュレーション科学 客員教授 野村 拓司 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕） （令和9年度は募集せず）	<ul style="list-style-type: none"> 量子多体系の理論・シミュレーション研究 強相関電子系における、磁性、超伝導、X線分光の理論 固体電子状態の理論・バンド計算 	
		物質機能解析学	放射光電子構造学 客員教授 藤森 伸一 客員准教授 川崎 郁斗 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕）	<ul style="list-style-type: none"> 放射光X線光電子分光法を利用した強相関電子系の電子状態研究 放射光X線分光を利用した先端基礎材料の電子状態研究 放射光を利用した光電子分光法による強相関電子系の電子構造研究 放射光X線分光による強相関電子系の磁性研究 光電子分光や強磁場下でのX線分光の測定技術開発
		物質構造制御学	放射光構造科学 客員教授 大和田 謙二 客員教授 佐々木 拓生 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕）	<ul style="list-style-type: none"> 放射光コヒーレントX線を用いた新規計測法の開発と物質科学への展開 放射光X線を用いたナノ粒子や薄膜材料の構造科学 放射光X線その場・オペランド計測による非平衡状態・機能発現過程（結晶成長、界面形成、デバイス動作など）の構造科学
放射光高圧物質科学 客員教授 綿貫 徹 客員教授 齋藤 寛之 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕）	<ul style="list-style-type: none"> 放射光を利用した金属水素化物などの新規機能性材料の高温高圧合成 放射光を用いた高圧下の物質の構造・物性の研究 			
連携大学院				

(注) 受け入れ第1志望分野については、研究内容と志望課程について当該分野の教授に問い合わせた上で受験すること。第2、第3志望分野については必須ではない。

理学研究科試験会場（播磨理学キャンパス）案内図

当日緊急連絡先
0791-58-0102

1 所在地略図



JR 相生駅より播磨科学公園都市（spring-8）行き神姫バス乗車「県立大理学部前」下車
（乗車時間約 30 分）〔1 日約 30 便〕

JR 播磨新宮駅前より播磨科学公園都市行き神姫バス「テクノ中央」下車
（乗車時間約 20 分）〔1 日約 3 便〕

2 建物配置

